


地方創生で活気のある町に 議会だより

かつら

No. 91

2021.12.30

- 
2. 令和2年度 決算総額 46 億円超
 4. マラソン議会 (9月~12月)
 5. 〈特集〉輝け 女性議会
 8. 町民の声 / 年頭挨拶
 9. 一般質問
 18. 地域に生きるONE TEAM
『地域自家発電研究会』
編集後記

Pick up!

まちづくり
防災

令和2年度の一般会計 決算歳出総額46億4418万円

9月14日、15日、16日、22日にわたり、一般会計・特別会計の決算を審査しました。審査は会計ごと、また担当課ごとに行われ、適正に支出されているか、不用額は妥当であるか、事業は計画通り実施され成果を上げているかなどについて、細かく質疑がなされました。

教育

GIGA スクール
4,428万円

ふるさと納税返礼品
10.8万円

「さとふる」では 3割程度の返礼品

ふるさと納税サイトを活用
ふるさと納税額が県内で最下位だった。その原因と今年度の取り組みは。
中瀬総務防災課長
令和2年度の目標額は1000万円に対して、17件、72万円だった。8月からふるさと納税サイト「さとふる」を活用し、納税額に対して3割程度の返礼品を用意している。



救急患者輸送業務
委託・雇用
8,000万円

救急輸送業務委託
契約変更は考えていない
救急患者輸送業務の運用方法について、救急患者輸送業務委託料約5800万円、救急隊員の雇用約2100万円、合計8000万円ほどの決算額であった。この金額があれば、救急救命士3名での業務も可能ではないか。
中瀬総務防災課長
現在は救急救命士7名、救急隊（運転手）6名で運用している。救急隊員（会計年度任用職員）の雇用等の課題もあり、委託契約変更は考えていない。

ふるさと納税額（県内24市町村）

1	鳴門市	3億3793万円
2	徳島市	2億1318万円
3	佐那河内村	1億4266万円
4	海陽町	9780万円
5	那賀町	8546万円
...		
23	東みよし町	326万円
24	勝浦町	72万円

令和2年度実績 / 金額順、1000円以下切捨

12月17日現在の納税額
（インターネット経由）
91・7万円（64件）
（それ以外）
24万円（7件）
（合計）
115・7万円

職員が対応し経費削減
GIGAスクール事業での通信ネットワーク整備において、設計監理委託料が不要になった理由は。
石木教育委員会事務局長
業者へのヒアリングや国の標準仕様書を参考に役場職員で対応できた。調査設計と情報通信設備整備を合わせて業務委託し、工事は完了している。

医療
福祉



新病院 情報発信や見学会で
町民にPRしたい

コロナ禍による影響で厳しい決算内容となっている。経営改善に向けた取り組みは。

笠木勝浦病院事務局長

令和2年度は多くの自治体病院が同じような決算状況であったのではないかと。来春の新病院開院に向けてホームページでの発信と合わせ、見学会の開催等、町民に対してPRしていきたい。

医業収益
（主に入院、外来収益）
4億5,283万円
前年（5億1300万円）から
12%減

旧パイロット園地の活用
住民等とも協議しビジョンを示したい

旧パイロット園地を再整備し貸し出す予定だったが、就農には至らなかった。利活用に向けた明確なビジョンを掲げるべきでは。また、維持管理に向けた体制はどうなっているのか。
河野農業振興課長

就農に至らなかったため、今年度は役場職員等が管理する。今後は早急に維持管理計画を策定する。

野上町長

有機農業や観光農園等、モデル園地として工夫を凝らした取り組みも必要だ。10月には生い茂った雑草を刈り上げるので、地元住民等とも協議する中で、ビジョンを示していきたい。

柑橘販売促進支援事業
（駅ナカポスター等）

500万円



阿波勝浦熟成みかん
課題は認知度向上と供給量確保

柑橘販売促進支援事業として、「駅中ポスター」等が実施されたが、今事業による販売促進への効果と課題は。

河野農業振興課長

産業
振興

J Aと連携し、大阪市場の主要取引先である大阪北部中央青果へ出荷している。出荷量は平成29年25トン、30年38トン、令和元年17トン、2年は54トンと増えている。今後は「阿波勝浦熟成みかん」の認知度向上と供給量の確保が課題である。

旧パイロット園地 再生工事

608万円





マラソン

9月・10月・11月・12月

議 会

9 月 会 議

6件の条例を可決。

職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正等。

コロナ禍による厳しい財政状況に
対処し地方税財源の充実を求める
意見書を可決（議員提案）

〈提出先〉

内閣総理大臣、衆参両院議長ほか

固定資産評価審査委員会

委員の選任に同意

稲岡 武氏（星谷）

人権擁護委員の推薦に同意

長尾 隆資氏（星谷）

10 月 会 議

—— 事業者支援給付金事業の内容は。

寺尾企画交流課長

新型コロナウイルス感染症で影響を受けた町内飲食業宿泊業者等への事業者に対し給付金を支給する事業（20万円×40件を想定）

—— 介護施設（勝寿会）設備整備事業は。

木村福祉課長

雨漏りによる建物の腐食防止のため外壁ペランダ屋上の防水工事を行う。

11 月 会 議

コミュニティ助成事業 立川地区（テール、いす、照明器具、物置等）

〈令和3年度 助成既決地区〉
星谷、生名、棚野、石原、掛谷、今山

勝浦病院改築工事

変更請負契約の締結について

追加工事として1588万円。総額17億2088万円。

〈主な追加〉

抗ウイルス壁・床材に変更、自家発電機と燃料小出槽の1・6m嵩上等。

12 月 会 議

子育て世帯等臨時特別支援事業

子育て世帯等臨時特別支援事業で新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として18歳以下の子どもに現金5万円を支給する。予定対象者608人。

—— 今回は5万円の支給だが、自治体によってはクーポンをやめて10万円を現金で渡す自治体もあるが。

木村福祉課長

国において予算措置をされている5万円のみを支給とする。

12月会議終了後、国の補正予算成立を受け、10万円を現金で一括支給することになった。

主な一般会計補正 総額 47 億 7,426 万円

新型コロナ対策事業者支援給付金事業	800万円
特別養護老人ホーム（勝寿会）防災改修支援事業	2,313万円
国土調査事業（訴訟費用）	110万円
障害児通所支援事業	457万円
新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目）業務	2,281万円
コミュニティ助成事業	200万円

他



女性議会

女性の声を、町政に。

10月19日に『女性議会』を開催しました。

『女性議会』は、家庭・地域・職場・育児などに関して、女性が日頃から抱いている町政に対する質問や意見、提案などを通じて町政への関心を深めていただくとともに、女性の視点から見た住みやすさ、暮らしやすさ、まちづくりをめざすことを目的としています。今回は、勝浦町在住の5人の女性に出席いただき、様々な意見をいただきました。

阿南方面への 通学支援事業の継続は



橋本議員

橋本 阿南方面の高校等に公共交通を使った場合の通学時間は、通学支援事業の利用者負担金の妥当性は。

石木教育委員会事務局長 阿南市富岡町の間で、公共交通を使った場合の通学時間は1時間20分余りあり、通学時間は長いと考えている。バス運賃は概ね適正であ

る。

橋本 この事業がなくなれば南方面の進路を考えている学生が困惑するのは必至です。今後も引き続き事業の継続をすることが大事だと思います。

野上町長 阿南方面への通学支援事業を行っており、今後もこうした施策は必要であると考えている。阿南方面への通学者のみが対象となっていることから、徳島市や小松島市、地元小松島西高校勝浦校とのバランスを考慮していく必要があると考える。

12月14日に開催された、くらし育み常任委員会において今後の事業スケジュールが示された。説明によると現在、実施している阿南方面通学支援バス事業は、令和4年度をもって終了し、新たに「高校生生活支援事業（仮称）」として令和5年度から高校生全員を対象に新制度（内容は検討中）をスタートさせる予定。町長からは通学バス支援事業の最終年である令和4年度に「間に合うならば新制度をスタートさせたい」との説明があった。

輝女性議会

女性の声を、町政に。



岡本議員

子育て支援サークルへのサポート体制は
岡本 子育て支援サークル「はぐくみクラブ」は、子育て中のママが主体となり企画、運営していますが、参加者が減っていて、今後の運営に不安を感じています。今後のサポート体制は。

木村福祉課長 平成15年に支援センターが開設されて以降、はぐくみクラブが中心となって保護者間の交流を図っている。運営の難しさは理解しているので、今後は従来の取り組みが継続できるように、関係者と相談しながら進めたい。

岡本 新しく子育て交流支援センターが改築されたが、はぐくみクラブのイベント以外での利用が少ない。乳児検診や離乳食講座など、子育て中の保護者の方が広場を利用するきっかけづくりのためにも、施設の有効活用を進めては。

福祉課長 支援センターの利活用策として、実績のある離乳食講座については今年度も実施する予定

で、ファミリーサポートセンターのイベントや手をつなぐ育成会のおしゃべり会にも活用している。来年には専用駐車場も整備されるので、センター事業での利活用を含め充実を図りたい。



坪内議員

平石山鉦山の土砂搬入住民の安全性は
坪内 26万立方メートルもの大量の建設残土搬入が保全工事になるのか。

野上町長 大規模な崩落を防ぎ残壁の安定化を図るため、下部から押え盛土を実施すると国から聞いている。

坪内 本場に安全が担保されているのか、熱海市災害が盛土の危険性を物語っている。

町長 現行法令に基づき、国、県が指導監督を行うため、熱海市の状況とは違う。

坪内 4700余名の反対署名の重みをどのように受け止めているのか。

町長 住民の不安は十分認識しており、許認可権者に対して確認や



要請をしてきた。

坪内 両者が打ち解ける方法は。

町長 事業者から住民に丁寧な説明がなされるよう要請している。



福井議員

未成年の障がい者福祉の充実を
福井 町内で放課後等デイサービスを受けられる場所がないです。町内でも放課後デイサービスのものができませんか。

木村福祉課長 今までもそのような話はあったが、放課後等デイサービスは支援の内容が多様多様であり、必要な利用者数を確保できないため、町内での運営は難しい。もうひとつの役割として保護者支援も大切な役割と考え、悩み相談や送迎部分の負担軽減の出来る施策を今後検討していきたい。

福井 役場内に未成年の障がい者の福祉について相談できる専門員を置けませんか。

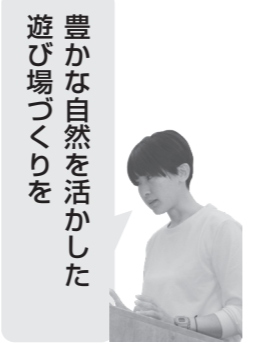
野上町長 令和3年度は子育て支

体制づくりを考えていきたい。



援交流センターで行っている「おしゃべり会」に事業者の相談員と役場の担当者も参加して、相談を受けられる体制づくりに努めて

いる。役場内の相談体制は障がい者だけに限らず、高齢者や子育て等、総合的な体制の確保を検討していきたい。



新居議員

豊かな自然を活かした遊び場づくりを
新居 本町は「子育てしやすい地域社会づくり」をめざしているが、町内に遊ぶ場所が少ないという声が多いです。

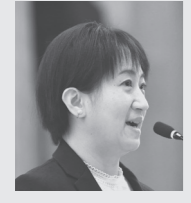
野上町長 お母さん方から子ども

新居 町内には観光資源であると同時に自然遊びができる適地がたくさんあります。遊具などのハードを整備するよりも、「勝浦町の豊かな自然環境を活かした遊び場づくり」が有効ではないでしょうか。

町長 昔、子どもたちは自然の山や川を遊び場にしてきた。豊かな自然は観光資源でもある。本町の魅力を拡大する上でも自然を遊び場として安心・安全に利用できる



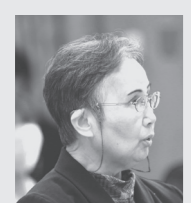
女性議会議員



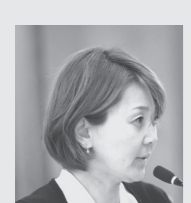
橋本 小百合 (横瀬)
 阿南方面への通学を支援する保護者会代表。看護師で3児の母。



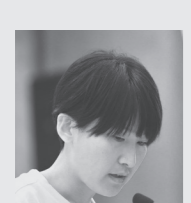
岡本 智子 (中角)
 勝浦町はぐくみクラブ実行委員会会長。



坪内 奈津子 (久国)
 徳島県女性協議会理事として活動。いちご農家。



福井 裕美 (棚野)
 歯科医師。双子の母。時間と経済の自由を得て、のんびり暮らすのが夢。



新居 慧香 (坂本)
 宿泊施設事務員。大学卒業後、故郷の勝浦町に戻る。農村文化圏にフォーカスして活動。

女性議会議長

しとみ 節 品子 (棚野)
 自宅で書道教室を開いていて、幼児～大人の方々と共に、一筆入魂!! みなさまの真剣に学ぶ姿に感動しています。



題字「輝け」は節さん書。

町民の声

日ごろ、皆さまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。



町長選を迎えるけど、勝浦町はどのような？

令和4年1月18日告示の勝浦町長選挙への出馬は。



引き続き、勝浦町長として町の舵取り役を務めていきたい。

取り組んできた政策の成果と課題、2期目に取り組む政策は。

勝浦病院改築事業は来年4月の開院に向け順調に進んでいる。学校の環境改善、空調設備等の整備や耐震化、GIGAスクールも順調に整備できた。保育士確保などにより、待機児童は出ていない。長引くコロナ禍により、町民のみなさまにも閉塞感やご不便をお掛けしており、感染終息後のまちづくりを見据える必要がある。

「住み続けたい、帰って来たい、暮らしてみたい阿波勝浦」をつくるため、職員と一体となって引き続き町民のみなさまの声に耳を傾け、町の舵取り役として誰もが幸せを感じられるまちの実現に注力していきたい。



野上町長

新しい年が明るい年でありますように

健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町議会活動に対して温かいご支援、ご協力をいただき有難うございます。

世界中で新型コロナウイルス感染症が広がり、誰もが予想しなかった暮らしや働き方を余儀なくされました。自粛生活や厳しい生活を強いられている方もいると思いますが、お互いを気遣い支え合っていけるまちづくりに町も議会も一生懸命取り組んでいるところです。

昨年のパラリンピックでは、お互いを思いやることの大切さや、共に生きていく社会づくりがもっと前に進むよう制度整備の必要性を強く感じたところです。

また、10月に開催した女性議会では、5人の女性議員が身近な課題に声を発し堂々と訴えてくれました。この機会を得たことは女性だけでなく、町全体を良くしていくことに繋がっていると確信いたしました。

コロナ禍の終息を願い、この試練をみんなで乗り切りましょう。「寅年」は成長していく年、縁起がとても良い年です。

みなさまにとって良い年となりますよう心からお祈り申し上げます。

勝浦町議会議長 美馬友子









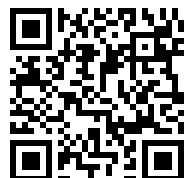
町政の“ここ”が聞きたい！

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月に行っている。

まちづくり	婦人の家東側の県道拡張工事 早期完了を引き続き県に要望	麻 植	P.12
	新しい投票所 冷暖房完備が必要	麻 植	P.12
	残土処理適地 3ヵ所 町民混乱を避け公表を控えたい	麻 植	P.12
	公共交通体系について見直したい	瀬 戸	P.13
	生比奈駐在所 建替時は婦人の家跡地も検討	瀬 戸	P.13
	平石山鉱山 安全性の説明について 事業者への強制力はない	井 出	P.14
	「恐竜の町」人材や作業場等を計画的に整備していく	国 清	P.17
税 金	地籍調査後の課税移行 監査委員からの指摘と議会からの意見があり検討	花 房	P.10
防 災	新たなポスト「防災監」 業務は防災業務全般	花 房	P.10
	特別警戒区域の住民には早期避難をお願いしたい	仙 才	P.11
	住民との被災復旧協定 締結は難しい	仙 才	P.11
	被災時の住民全員収容 公共避難所では難しい	仙 才	P.11
	ファミリータイムライン 啓発を続けていきたい	相 原	P.15
	公園や避難場所等となる複合的な用地整備を考えたい	松 田	P.16
	課題山積の消防常備化 議会と協議し対応したい	国 清	P.17
教 育	タブレットを使って英語の授業を海外発信している	相 原	P.15
そ の 他	地籍調査訴訟 自ら考える職員を育成したい	松 田	P.16

過去に発行した勝浦町議会広報や一般質問の全編映像は、公式ウェブサイトから閲覧できます。
そちらも合わせてご覧ください。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/>



地籍調査の現況課税移行 時期変更の経緯は

監査委員からの指摘と

議会からの意見があり検討

—— 地籍調査で坂本地区の登記完了後から現況課税に移行することが決まったが、当初の約束と違うとの指摘がある。変更の経緯と理由は。

藤井 税務課長

平成15年9月議会で「調査終了後に一括して課税の変更を求めよ」との要望があった。平成16年6月10日の決裁文書に「基本的に勝浦町全域の国土調査の完了後一括して課税の変更を行う」と記載

があり、現在は調査終了後も課税額を変更していない。

その後、平成29年度と30年度の決算審査で監査委員から全地区終了後の課税適用には問題があるとの指摘があった。

同時に議会からも平成30年度決算に対して「特に留意する事項」として、適正な課税体系になるように努められたいと意見書の提出があった。これを受け、令和3年3月に現在調査中の地区から地籍調査を反映した現況課

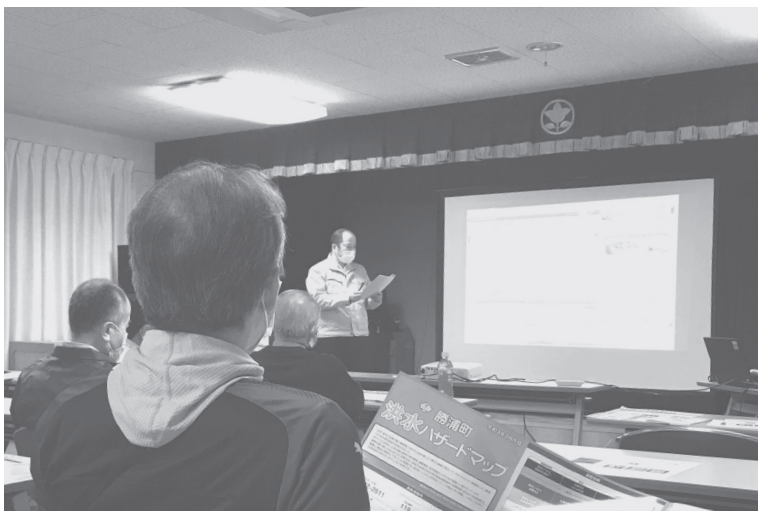
税に変更すると決めた。

新たなポスト「防災監」業務は防災業務全般

—— 9月より「防災監」という新たな役職ができた。防災監の業務は。

中瀬 総務防災課長

防災業務全般である。特にJアラートや受援時の関係各機関との連絡調整、地震、豪雨それぞれを想定した対策マニュアルや消防団の研修計画の作成がある。



高市防災監によるハザードマップ説明会

その他の質問

- 総合計画について
- 旧勝浦病院の利用について
- シトラスリボン運動に賛同を

はなふさ かついち
花房 勝一 議員

中山間部住民のマイタイムライン 早期避難が基本

域（急傾斜）に入っている。
総務防災課長

良くないと思うが、今のところ
建て替えの計画はない。

特別警戒区域の住民には
早期避難をお願いしたい

マイタイムライン（防災行動計画）
作成の基本的な考え方は。

協会」と協定し、災害時に利用で
きる体制となっている。

ハザードマップによれば、

中瀬総務防災課長

特別警戒区域の住民には早期避
難をお願いしたい。

被災時の住民全員収容
公共避難所では難しい

坂本地区のような中山間部では、
ほとんどの住居が土砂災害（地す
べり、急傾斜、土石流）の警戒区
域に入っている。中山間部住民の

避難所の収容人数は足りて
いるのか。

住民との被災復旧協定
締結は難しい

—— 自主防災力強化の
ため、重機所有住民との
協定はできないか。また
ドローンの利用を考えて
いるか。

中瀬総務防災課長

—— 水害被災時には「ふれあい
の里さかもと」と坂本体育館は避
難所として使えるのではないか。

海川建設課長

道路や公共施設の早期
復旧のため、建設業協会
と協定を結んでおり、体
制は整っている。住民と
の協定については難しい。

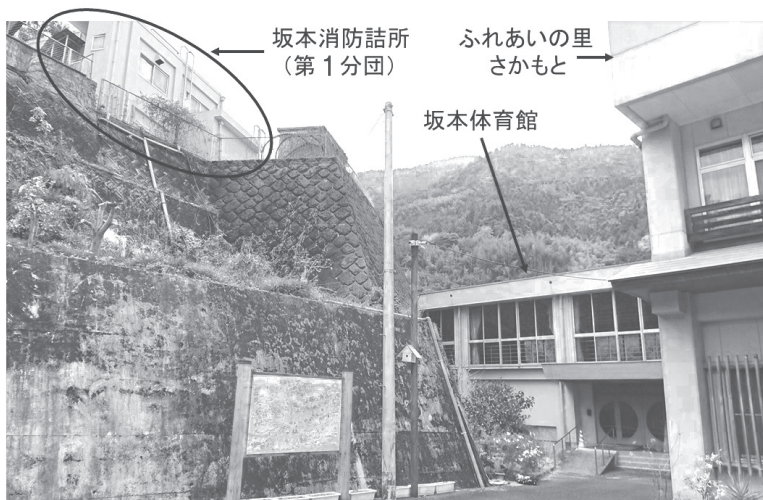
総務防災課長

現在は避難所指定から外
れている。施設の所管課（企
画交流課と教育委員会）の
判断が先決と考えている。

中瀬総務防災課長

ドローンについては、
「かつら国土と未来振興

—— 消防団第1分団（坂
本）詰所が土砂災害警戒区



崖の上の消防団詰所

その他の質問

- 避難所のトイレ改修計画
- バス路線廃止 1年経過して
- ナラ枯れの現状と対策
- 光ケーブルの活用

せんざい まもる
仙才 守 議員

農村婦人の家 解体後の跡地利用計画は

婦人の家東側の県道拡張工事
早期完了を引き続き県に要望

—— 生比奈小学校より東側の中
角工区の進捗状況は。

海川建設課長

今年度、農村婦人の家から東へ
2カ所を工事すると聞いている。

—— 県に対しての要望は。

野上町長

中角工区の早期完了と次の狭あ
い箇所について、引き続き県に対
して要望する。

—— 農村婦人の家の解体後の更
地の利活用は。

河野農業振興課長

残念ながら更地の利活
用は決定していない。

山田副町長

検討中であるが、議会
からの提言も頂きたい。

新しい投票所

冷暖房完備が必要

—— 衆議院選挙におい
ての投票所変更の反省点
は。

後藤住民課長

農村婦人の家取り壊

—— のため、第2投票区の
投票所が生比奈小学校体
育館2階に変更となった。
安全対策、冷暖房完備が
必要ではないかと考える。

残土処理適地3カ所
町民混乱を避け公表を控えたい

—— 令和3年度の勝浦町残土処
理場適地検討業務の入札結果と内
容は。

海川建設課長

8社が応札し落札金額は
300万円だった。業務内容は過
去に県営事業等で残土処理を検討
した箇所とその周辺について調査
した。

—— 検討した処理場は何か所か

建設課長

3カ所を検討した。

—— 業務内容について関係者と
は十分な話し合いをしたか。

建設課長

処分場の検討調査
と言う事で一部の関
係者以外は説明をし
ていない。

—— 民地内での調査について、
承諾はとれていたか。

建設課長

事前に承諾を得て立ち入り調査
をした。

—— 適地3カ所はどこか。

建設課長

検討中であり、町民の間に混乱
を生じる恐れがあるため公表は控
えたい。



何に使うんで？ 婦人の家跡地

お え ひ で き
麻植 秀樹 議員

オンデマンドバスの導入 方向性は今年度中に示す

公共交通体系について見直したい

—— オンデマンドバス導入に向けた実証実験を検討できないか。

中瀬総務防災課長

コミュニティバスやデマンド交通の導入など、様々な公共交通体系について見直していきたい。方向性等については、今年度もう一度会議をもって示していく。

要支援者に対する個別避難計画
同意を得られるなら作成したい

—— 地区毎の防災計画を作成する予定は。

中瀬総務防災課長

高齢者等が避難する際に危険な箇所など、地域特性をよく知っている住民の自発的な提案で自らがつくることが重要である。作成することは義務ではないが、機会あるごとに啓発し助言などを行っていききたい。

避難行動要支援者に対する個別避難計画作成について、要支援者の同意が得られるならば福祉課とともに作成に努めたい。

—— 災害避難標識、誘導標識の設置について。

総務防災課長

避難所看板を今年度補助事業で



よくわかる案内板 こんならうで？

実施する予定で、誘導標識についても検討する必要がある。

生比奈駐在所

建替時は婦人の家跡地も検討

—— 生比奈駐在所の建物は老朽化し、駐車場も狭く車の出入りはしにくい。仮に移転するのであれば農村婦人の家の跡地を提供してはどうか。

野上町長

県で駐在所の建て替え計画等があるならば、考えた

その他の質問

- 農業活性化の取り組みについて
- 5、10年後の農業をどのように認識しているか
- 再生可能エネルギーについて

せと なおいち
瀬戸 直一 議員

平石山鉷山問題

事業者による説明会の開催は

安全性の説明について

事業者への強制力はない

—— 県から連絡がないまま、土砂が運び込まれていた。事前に連絡をくれるように、もう一度県に申し入れをするべきではないか。

後藤住民課長

申し入れをしても難しいと判断している。

—— 連絡がないのは、鉷山事業者が「井出美智子」に損害賠償請求の提訴をしたことにあるのではないか。

4700人の流域住民が土砂搬入ストップを求めて請願署名をし、それを受けて町議会は国、県への意見書決議を行った。熱海市で大災害が発生したが、平石山鉷山は4倍近い26万㎡の盛土計画であり、住民の不安増大は当然である。住民の要望を受け、土砂搬入・盛り土ストップを求めて活動することは、町議会議員として当然で正当な活動である。

崩落が心配される上部残壁

県の土砂搬入の許可は残壁上部からの対策優先、住

民への説明などの条件付きである。許可条件が守られていないのではないかと。

春木政策監

残壁上部対策と事業者

による現地説明会は未実施だが、県からは許可要件ではなく事業者への強制力はないと聞いている。

—— 残壁保全工事がなぜ大量盛り土搬入になるのか。災害が起きてからでは手遅れである。町民の安心安全を確保するために、町としてこれからどう取り組んでいくのか。

野上町長

事業者に現地説明会を開くよう、引き続き働きかけていく。

その他の質問

- 特定地域づくり事業制度
- 国の果樹経営支援対策事業 もっと柔軟に適用を

い で み ち こ
井出 美智子 議員

勝浦版 防災行動計画 作成の予定は

ファミリータイムライン
啓発を続けていきたい

と対応は。

—— 全町防災訓練の結果と反省

点は。

中瀬総務防災課長

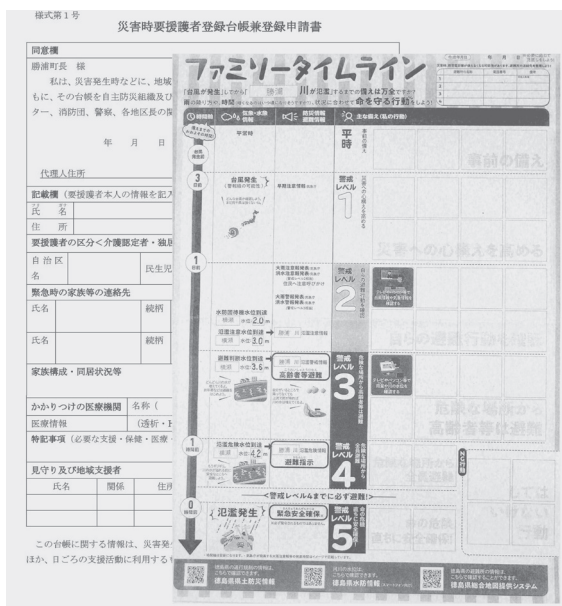
高齢者が多数を占める要配慮者
に対しては、特性に応じた訓練を
する必要がある。新たに防災監が
着任したことで計画的に実効性の
ある取り組みを行う予定。

—— 洪水ハザードマップ等につ
いての各区説明会のスケジュール

総務防災課長

現在、地区への説明を行って
おり、16地区のうち10地区終わり、
残り6地区については年度内実施
予定。避難所の再選定、避難の要
領を検討していく。

—— 備蓄倉庫の設置、個別避難
計画作成、マイタイムライン作成
は。



早く町民への啓発を

総務防災課長

備蓄倉庫の設
置について町民
体育館には必要
だと考えている。
現状は16地区中
14地区に備蓄倉
庫を設置済みで、
生名地区でコー
ナ対策用備蓄倉
庫の設置を予定
している。ファ
ミリータイムラ

インについての啓発を続けていき
たい。

ファミリータイムラインとは勝
浦版マイタイムラインのこと

木村福祉課長

個別避難計画作成は今年度中
にモデルケースとして数件作る予
定。

タブレットを使って

英語の授業を海外発信している

—— GIGAスクール構想で整
備されたタブレットの保守点検は
どうするのか。

石木教育委員会事務局長

保証期間は令和4年3
月終了となり、令和4年度
は保守関係予算を計上する
こととなる。

—— 授業でのタブレット
利用状況については。

市川教育長

稲の写真を撮つ
たり、校庭にある
秋の自然等、カメ
ラ機能を中心に活
用している。

また、英語の授
業において校内の
様子を撮影し、その内容を海外発
信している。

その他の質問

- 普通会計決算について
- 果樹・柑橘類の状況について



あいはら きくお
相原 喜久男 議員

広域避難先として 仮設住宅用地等の整備を

公園や避難場所等となる
複合的な用地整備を考えたい

いる勝浦町の役割と課題は。

たい。

—— 勝浦町は山間部に位置し、

「南海トラフ巨大地震」による津波被害に遭わず、比較的「災害に強い町」である。被災時の広域避難についての方針、「徳島県広域避難ガイドライン」で求められて

春木政策監

「南海トラフ巨大地震」発生時に津波による被害が大きいとされる小松島市民の避難先になつてい。本町の被災状況や避難所の開設状況、避難者の収容人数等の現状把握が重要だ。その上で可能であれば受け入れることになる。平時からの取り組みとして、関係市町村と連携を密にし、町民の広域避難への理解と協力が得られるよう努力したい。

地籍調査訴訟

自ら考える職員を育成したい

—— 法に基づいた論旨明快な説明や関係者への事前の根回しがあれば、このような事態は避けられたものと考ええる。行政事務の観点から学ぶべき点があったのでは。

山田副町長

正しい法解釈と説明能力の向上、職員間の情報共有とともに、住民との意思疎通が図れるよう努めたい。

—— 今後4年間の町政運営をリードしていく事を表明している立場として、行政事務全般の課題と今後の方針について伺いたい。

野上町長

コロナ禍の影響で職員が事務に追われている状況を改善し、政策立案に取り組み時間を確保し



整備された仮設住宅用地（平時は職員の駐車場として利用）

—— 広域避難先として、仮設住宅用地や防災公園等の整備を。

野上町長

子ども達が楽しめる公園や避難場所、残土処分場等の複合的な役割を持った用地の整備を考え

まつだ たかし
松田 貴志 議員

検討課題が多い「恐竜の町」 今後の対応は

人材や作業場等を

計画的に整備していく

——今年度、福井県勝山市から古生物学の荻野慎諧^{しんかく}理学博士を町の参与として迎えたことで、恐竜

石木教育委員会事務局長

を活かしたまちづくりが大きく動き出した。昨年からスタートした「恐竜月間」の成果はどうであったのか。

究をサポートし、その情報提供によりモノづくりに活かす。フェスティバルの課題としては、発掘体験場の整備や若いインスタクターの養成が必要である。

——「恐竜を活かしたまちづくり」には「人と物」が必要だが、町長はどう考えているのか。

野上町長

人材や恐竜制作の作業場、展示の場が必要となる。今後、計画性をもって進めていきたい。

課題山積の消防常備化
議会と協議し対応したい

——今議会において6人の議員から、消防・防災について質問が続いたが、納得できる答弁がない。これは体制に問題があり、見直すべきだ。

また、消防常備化に向けて、推進協議会が一年以上

も開かれていない。
野上町長

消防・防災は課題が山積している。体制も含めて議会と協議し対応したい。

その他の質問

- かつらブランドに向けて
- 新年度の課題と重要施策



復元された勝浦産 小型獣脚類と参与

今年度は、「恐竜フェスティバル」として学校の夏休み早々から開催し、3218人の来場者があった。昨年より2009人増え、多くの児童、生徒に勝浦の恐竜について関心をもっていただけた。

また、「ひなの里かつら」や「よってネ市」の売り上げが、大幅に増えたと聞いている。

——県立博物館との連携や、今後の恐竜フェスティバルへの課題は。

荻野教育委員会事務局参与

町は県立博物館の研

くにきよ いちじ
国清 一治 議員

地域に生きる

ONE ワン・チーム TEAM

元気な勝浦に、もっと活気を。



代表
新居 さとこ 慧香さん

地域自家発電研究会

どんなグループ

「みんなの力で地域に水車をつくりたい」から始まった小水力発電プロジェクトです。メンバーは7人、年齢構成は20代から80代までと幅広いです。坂本地区の内外から賛同者が集まりました。小水力発電の専門家宇野浩さん（元阿南高専特命教授）にアドバイザーとして参加いただいています。



どんなことしよんで

3年間かけて、小水力発電のことを丁寧に学びながら水車を作っていきます。初年度事業として、キックオフイベント（映画上映やトークセッションなど）、研修会、小水力発電の見学会などを実施。また水車製作用木材の伐採をしました。次年度はワークショップ、クラウドファンディング、資材調達などを予定しています。3年目に水車を製作し、設置します。



今後の展望

『夢をカタチに』かつて坂本地区には山間の斜面を利用して数多くの水車が回っていました。それは「風の谷のナウシカ」の風車のような、里山の風景でした。水車を作り、発電を行い、コミュニティエネルギーのシンボルとして環境教育の教材、観光資源、みんなの場所・拠点（コミュニティスペース）として利用します。

町民の「笑顔」募集！

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。

テーマは「町民の笑顔」！

詳細は下記 URL
または QR コードをチェック！



<https://formok.com/f/1chm9gnl>

世界中の生活をも変えてしまった新型コロナウイルス感染症。日本においてはワクチンの影響か、最近ようやく終息の兆しが見えてきたようである。

しかし、ここにきて新たなオミクロン株という変異ウイルスが発生し、また自粛生活への逆戻りが心配されている。

そのような中、岸田内閣はコロナ対策として約35兆円の補正予算を組んでいる。

勝浦町においても本当に困っている人に支援が行き渡るように、声なき声を拾い上げて町政に届けていきたい。

（花房勝一）

編集後記

